

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-369966

(43)Date of publication of application : 22.12.1992

(51)Int.Cl.

H04N 1/32  
G10L 3/00  
H04M 11/00  
H04N 1/00

(21)Application number : 03-147141

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 19.06.1991

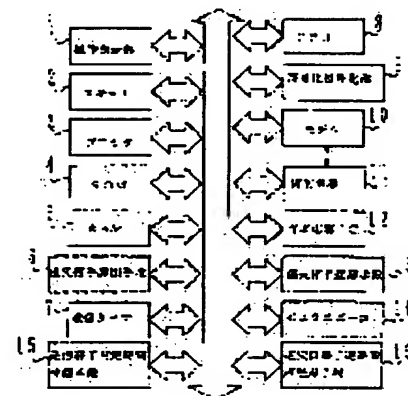
(72)Inventor : ICHIMURA SANENORI

## (54) FACSIMILE EQUIPMENT AND ITS PROCESSING METHOD

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To realize the facsimile equipment effectively transmitting and receiving urgent requirements and judging the transmission or the reception at a distance.

**CONSTITUTION:** By registering the communication party to be transmitted and received in the order of priority in a registration memory 13, the voice notification is performed at the end of the communication. A transmission time is registered in a registration memory 15, the actual transmission time and the registered time are compared, and whether the transmission is completed within the time or it takes longer than the indication is notified through another voice. Further, each communication voice at the end of the reception and transmission, when completed in the indication time, and when it takes longer than the indication time is respectively registered in advance. Thus, the voice and sound serving the operator's purpose can be selected and registered.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-369966

(43) 公開日 平成4年(1992)12月22日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/32		Z 2109-5C		
G 1 0 L 3/00		Q 8946-5H		
H 0 4 M 11/00	3 0 3	7117-5K		
H 0 4 N 1/00	1 0 6	Z 4226-5C		

審査請求 未請求 請求項の数4(全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平3-147141

(22) 出願日 平成3年(1991)6月19日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 市村 実紀

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

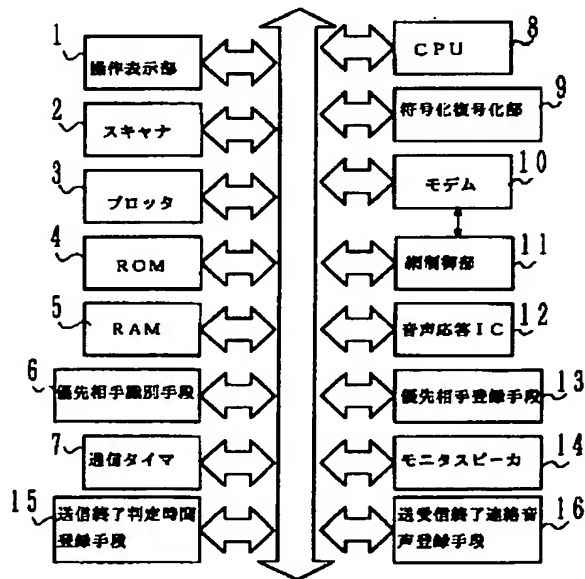
(74) 代理人 弁理士 磯村 雅俊

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置およびその処理方法

(57) 【要約】

【目的】 至急の要件を効率よく送受信でき、離れた場所からも送信または受信状態が判断できるようなファクシミリ装置を実現する。

【構成】 優先順位で送受信すべき通信相手を登録メモリに登録しておくことにより、通信終了時にその旨を音声で通知してくれる。また、目安となる送信時間を登録メモリに登録しておき、実際にかかった時間と登録された時間とを比較して、目安の時間以内で送信が終了したか、目安の時間より長くかかって終了したかを別個の音声で通知する。さらに、受信終了時、送信終了時で、かつ目安の時間以内に終了した時、および目安の時間より長い時間かかった時の各連絡音声を、別個に予め登録する。従って、操作者の好みの音声や音楽を選択して登録できる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 相手方との間で文書を送受信するファクシミリ装置において、常に優先的順位で送受信すべき相手方を登録しておく優先相手登録手段と、通信中の相手方が上記優先相手登録手段に登録されている優先相手か否かを識別する手段と、該優先相手との通信が終了したときに送出するための音声を登録しておく送受信終了連絡音声登録手段とを具備し、優先相手との通信が終了した時のみ、上記送受信終了連絡音声登録手段に登録された音声を操作者に出力して、その旨を通知することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1に記載のファクシミリ装置において、上記優先相手登録手段に登録された優先相手毎に、送信終了までにかかる時間を目安として登録しておく送信終了判定登録手段と、該送信終了判定登録手段に登録されている時間と実際に送信が終了するまでにかかった測定時間とを比較する通信タイマーと、該通信タイマーの出力から、上記目安となる時間以内に送信が終了したときには、登録してある音声でその旨を操作者に通知することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 相手方との間で文書を送受信するファクシミリ装置の処理方法において、登録済みの優先相手に送信する場合、送信終了までにかかる目安となる時間と実際に送信終了までにかかった測定時間とを比較したときに、上記目安となる時間以内に送信が終了した場合に、その旨を操作者に通知する連絡音声と、上記目安となる時間以上かかって送信が終了した場合に、その旨を操作者に通知する連絡音声とを、予めそれぞれ任意に設定して登録しておくことを特徴とするファクシミリ装置の処理方法。

【請求項4】 相手方との間で文書を送受信するファクシミリ装置の処理方法において、登録済みの優先相手から受信する場合、該優先相手からの受信が終了したときに、その旨を操作者に通知する連絡音声を、予め任意に設定して登録しておくことを特徴とするファクシミリ装置の処理方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、優先相手を指定することができる、かつ通信終了を音声で知らせることができるファクシミリ装置およびその処理方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より、ファクシミリ装置において、優先送信を行うものとしては、例えば、特開平1-129572号公報に記載された『蓄積型ファクシミリ送信装置』があり、また受信終了を音声で知らせるものとしては、例えば、特開昭63-268359号公報に記載された『通報用音声合成部付ファクシミリ装置』がある。また、送受信終了を音声で知らせるものとしては、例えば特開平1-175353号公報に記載された方法

がある。上記蓄積型ファクシミリ送信装置では、操作者が原稿走査を指示する際に優先指定を行うと、送信文書の送信順序を記憶部に記憶するとき、指定された優先文書が順序の先頭になるように送信順序を変更している。また、上記通報用音声合成部付ファクシミリ装置では、送信者の能率を向上させるために、相手側に着信したとき、音声合成部が起動して、受信者氏名とその受信者にファクシミリが転送されたことを音声で回線に出力し、受信者に通報する。受信者は、これにより適時、受信データを取得することができる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このように、従来より、通信相手に優先順位を付けたり、受信者に音声でデータが転送されたことを通報していた。ところで、通信相手に優先順位を付けることは、その相手との通信が重要と考えているのであるから、最優先相手との通信結果は1秒でも早く受け取ってもらうことが必要である。それにもかかわらず、従来のファクシミリ装置では、優先順位を付けて、その送信データを転送した後、音声で通報しているが、もし相手方の受信者がファクシミリ装置から離れた場所にいたため、音声が届かず、数時間後にファクシミリ装置の位置に戻って、その時点で受信データを知った場合には、データの受領が遅くなってしまう。すなわち、従来、最優先の相手の通信があったことを、ファクシミリ装置から離れた場所で知る方法はなかった。本発明の目的は、このような従来の課題を解決し、優先受信者がファクシミリ装置から離れた場所においても、送信状態が判るようにし、通信状態を音声で知らせることが可能なファクシミリ装置およびその処理方法を提供することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明のファクシミリ装置は、(イ)常に優先的順位で送受信すべき相手方を登録しておく優先相手登録手段と、通信中の相手方が上記優先相手登録手段に登録されている優先相手か否かを識別する手段と、優先相手との通信が終了したときに送出するための音声を登録しておく送受信終了連絡音声登録手段とを具備し、優先相手との通信が終了した時のみ、送受信終了連絡音声登録手段に登録された音声を操作者に出力して、その旨を通知することに特徴がある。また、(ロ)優先相手登録手段に登録された優先相手毎に、送信終了までにかかる時間を目安として登録しておく送信終了判定登録手段と、送信終了判定登録手段に登録されている時間と実際に送信が終了するまでにかかった測定時間とを比較する通信タイマーと、通信タイマーの出力から、目安となる時間以内に送信が終了したときには、登録してある音声でその旨を操作者に通知することにも特徴がある。また、本発明のファクシミリ装置の処理方法は、(ハ)登録済みの優先相手に送信する場合、送信終了までにかかる目安と

3

なる時間と実際に送信終了までにかかった測定時間とを比較したときに、目安となる時間以内に送信が終了した場合に、その旨を操作者に通知する連絡音声と、目安となる時間以上かかって送信が終了した場合に、その旨を操作者に通知する連絡音声とを、予めそれぞれ任意に設定して登録しておくことに特徴がある。さらに、(二)登録済みの優先相手から受信する場合、優先相手からの受信が終了したときに、その旨を操作者に通知する連絡音声を、予め任意に設定して登録しておくことにも特徴がある。

【0005】

【作用】本発明においては、(イ)ファクシミリ装置内で、新たに、優先的に通信したい相手を登録しておき、現在行われている通信相手が登録されている相手であるか否かを識別し、登録されている相手のときには、通信終了時に音声で通知するようにしている。また、(ロ)優先相手のとき、送信終了までにかかる時間を目安として登録しておき、実際にかかった時間と登録されている時間とを、タイマーで比較し、目安となる登録時間より短い時間で通信終了したときには、音声で操作者に通知する。(ハ)目安となる登録時間より短い時間で通信終了したとき、および登録時間より長くかかったときで、それぞれ異なる音声を任意に設定する。(二)優先的に通信したい相手を登録して、現在の通信相手が登録されている相手であることを識別し、登録されている相手のときには、通信終了時に音声で通知するが、(上記(イ)の場合)、特に受信の場合に、終了を意味する音声を任意に設定し、選択するようにしている。これにより、優先登録するだけで、通信終了時に音声で通知されるので、送信者にも受信者にも効率よく通信が可能となる。また、目安となる時間内通信であったか否かが音声で通知されるので、離れた席からでも送信状態が判定できる。さらに、目安となる時間以上かかった場合でも、その旨、音声で通知されるので、送信状態が判定できる。また、受信者にとっても、受信終了の通知が音声で行われるので、早急に受信したことが把握できる。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例を、図面により詳細に説明する。図1は、本発明の一実施例を示すファクシミリ装置のブロック構成図である。図1において、1は各種情報等を入力するテンキー、スタートキー等の各種操作キー、2は送信原稿の画像を画素に変換して読み取るスキャナ、3は受信面情報を記録用紙に記録するプロッタ、4はCPU8が実行する制御プログラムおよび各種データテーブルを記憶したROM、5はCPU8のワークエリアを形成するRAM、8はこのファクシミリ装置全体を制御するためのCPU、9は送受信データを圧縮伸長するための符号化復号化部、10は信号を回線に乗せて送信するためのモデム(変復調装置)、11は自動発着信機能を備えた制御部、13は優先的に通信を行

4

いたい相手を登録しておくための優先相手登録手段、14はモニタスピーカである。また、6は通信相手が上記登録手段13で登録しておいた優先相手であるか否かを識別する優先相手識別手段、15は送信終了までにどれくらいかかるか、またはどれくらいまでに送信したいか等、送信にかかった時間の目安とする時間を設定する送信終了判定時間登録手段、7は送信を開始してから終了するまでの時間を測定し、測定した時間と登録手段15により登録された時間とを比較する通信タイマー、12は送受信終了を音声で知らせる音声応答IC、16は送受信終了連絡音声を設定する送受信終了連絡音声登録手段である。図1において、本発明において新たに設けられた手段は、優先相手であることを登録する手段13と、その登録された優先相手であることを識別する手段6と、送受信終了を音声で知らせる音声応答IC12と、実際にかかった時間と登録されている時間を比較する通信タイマー7と、送信終了判定時間登録手段15と、送受信終了連絡音声登録手段16である。

【0007】図2は、図1におけるファクシミリ装置の動作フローチャートである。まず、送信か受信かを判断して(ステップ21)、受信の場合には、優先登録されている相手であれば(ステップ22)、受信終了後、受信終了の旨を示すメロディを流し(ステップ23)、送信相手が優先登録されていなければ、通常の受信を行う(ステップ24)。次に、送信の場合には(ステップ21)、優先登録されている相手への送信であれば(ステップ25)、送信を行い(ステップ26)、送信の始めから送信終了するまでにかかった時間 $T_x$ と、送信終了判定時間登録手段15で登録された時間 $T_A$ とを比較する(ステップ27)。その結果、 $T_x \leq T_A$ であれば、モニタスピーカ14から予め時間内送信成功を意味するメロディを音声応答IC12から送出する。このメロディは、送受信終了連絡音声登録手段16に登録されている(ステップ30)。また、 $T_x > T_A$ であれば、通信成功のときには(ステップ28)、時間内には送信できなかったことを意味するメロディを送出する(ステップ29)。また、通信失敗の場合には(ステップ28)、通常の通信失敗の処理を行って処理を終了する。また、優先登録されていない相手に対して送信する場合には(ステップ25)、通常の送信動作を行う(ステップ31)。

【0008】図3は、本発明において予め登録しておく処理方法、例えば優先相手の登録、メロディ設定等の処理フローチャートである。本実施例のファクシミリ装置に対して、予め設定しておくものとしては、図3に示すように、まず優先相手の登録を行い(ステップ41)、メロディを送出するか否かを判定し(ステップ42)、受信時のメロディを選曲する(ステップ43)。次に、送信時のメロディの時間設定を行うか否かを判定し(ステップ44)、行わないのであれば、送信時の通常メ

5

ロディの選曲をする(ステップ48)。また、時間設定を行うときには、時間TAを設定し(ステップ45)、 $TA \geq Tx$ メロディを選曲した後(ステップ46)、 $TA < Tx$ メロディを選曲する(ステップ47)。これらを、図1の優先相手登録手段13および送受信終了連絡音声登録手段16に登録しておく。

【0009】このように、本発明では、(イ)ファクシミリ装置の登録手段に常に優先順位で送受信すべき通信相手を登録しておくだけで、送信終了のときにも、また受信終了のときにも、音声で通知してくれるので、特に至急の要件で通信したい相手方と優先的に効率よく通信が行える。(ロ)また、登録済みの優先相手毎に、目安となる通信終了時間が登録され、実際にかかった時間がその目安の時間以内に終了したときには、その旨を音声で通知してくれるので、送信の操作者は少し離れた席からでもその音声を聞くことができ、送信状態を判断することができる。また、(ハ)登録済みの優先相手毎に、目安となる通信終了時間が登録され、実際にかかった時間がその目安となる時間以内に終了したときに通知するための音声と、目安となる通信終了時間よりも長くかかって終了したときに通知するための音声とを、別個に予め登録できるので、それぞれ好みの音声や音楽を登録することができる。例えば、送信操作者になる予定の人に対して、予め希望する音声を聞いておき、それらを登録することも可能である。従って、送信操作者は、目安となる時間内に送信できたか否かを異なる音声で知らせてくれるので、離れた席からでも送信状態を判断することができる。(ニ)登録済みの優先相手からのファクシミリ受信の場合に、その通信が終了したことを通知するための音声を予め登録できるので、受信操作者の好みの音声または音楽を登録することができる。また、受信終了を告げる音声を選択できるので、環境に応じてより判り易く受信状態を知ることができる。

【0010】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、優先相手を登録しておくだけで、通信の終了を音声で知

6

らせてくれるので、至急の要件を通信する場合でも、効率よく送受信することができ、また目安となる時間以内に終了したか否かが音声により判断できるので、送信状態を適格に判断でき、また離れた席からもそれを聞くことができる。さらに、送信終了と受信終了毎に、送信終了の場合には、目安となる時間以内に終了したか、その時間より長くかかったかを知らせる音声を、それぞれ別々に登録できるので、好みの音声や音楽を選択でき、操作者は環境に応じて送受信状態を判断することができる。

【0011】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すファクシミリ装置の機能ブロック図である。

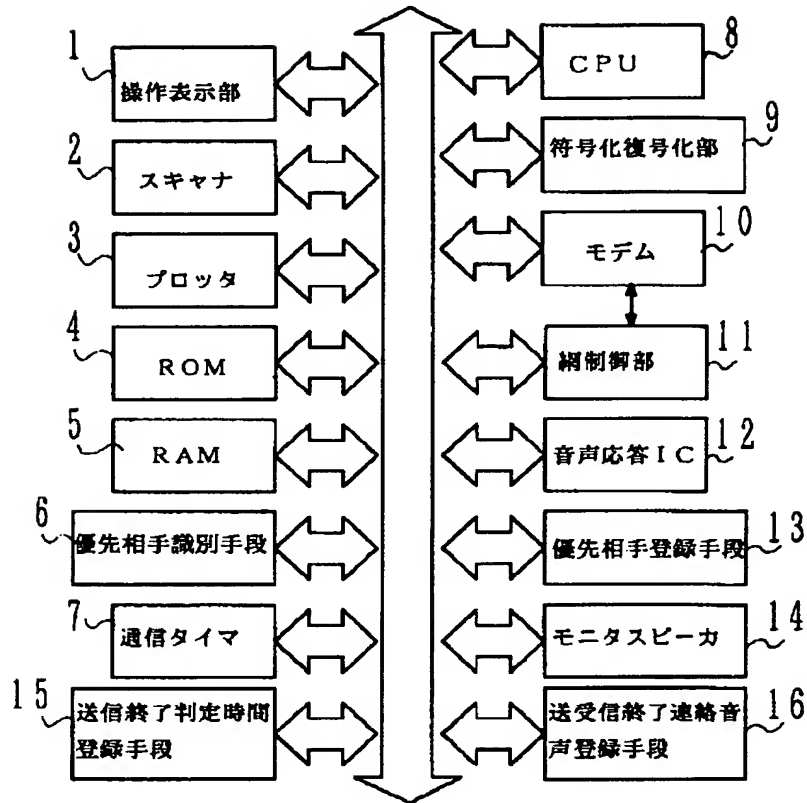
【図2】図1における送受信終了時の音声通知処理のフローチャートである。

【図3】図1において、送受信時に通知するための音声を予め登録する場合の処理フローチャートである。

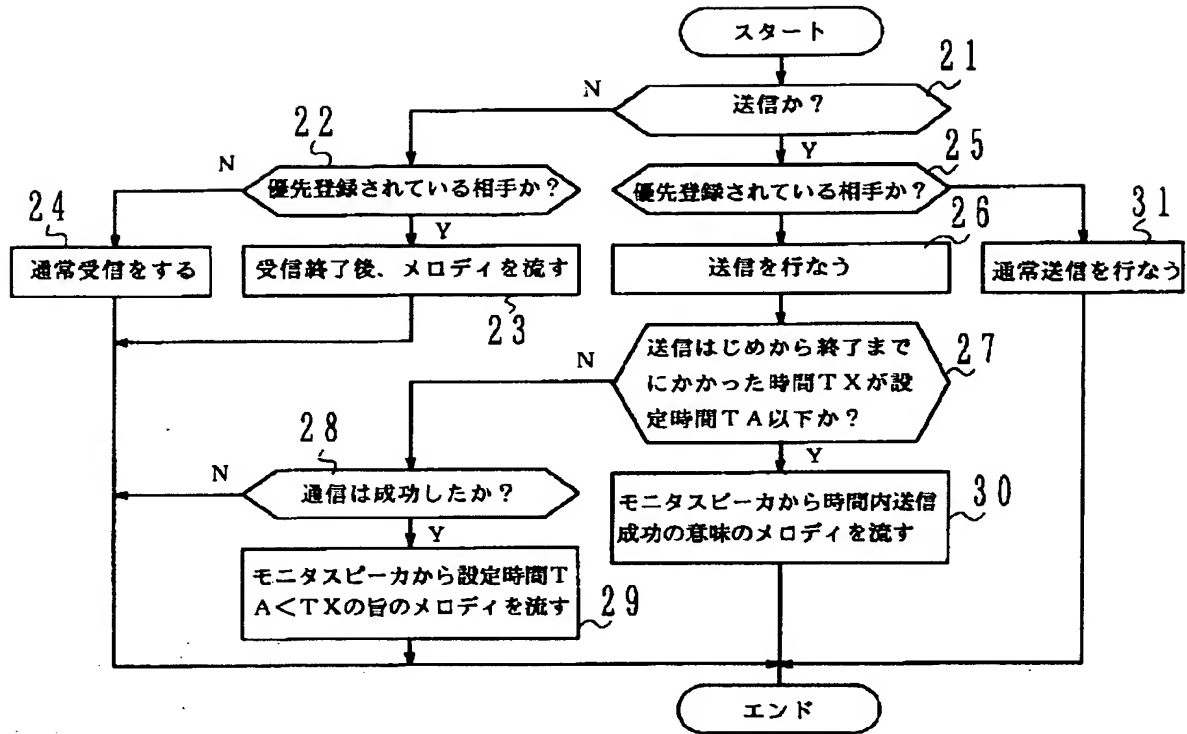
【符号の説明】

- 1 操作表示部
- 2 スキャナ
- 3 プロッタ
- 4 ROM
- 5 RAM
- 6 優先相手識別手段
- 7 通信タイマー
- 8 CPU
- 9 符号化復号化部
- 10 モデム
- 11 網制御部
- 12 音声応答IC
- 13 優先相手登録手段
- 14 モニタスピーカー
- 15 送信終了判定時間登録手段
- 16 送受信終了連絡音声登録手段

【図1】



【図2】



【図3】

